

カムカムはっぴい

秋号

発行元
株 番地 銘石
青森市堤町 1-3-16
フリーダイヤル
0120-75-1483

みなさん、こんにちは☆
暑い暑い季節



がようやく過ぎ去ってくれたようです。
『ネプタが終

わると涼しくなる』と思ってい
ました。今年はどうしたことか9月に入ってから気温30℃超え。真夏日だけでなく猛暑日もありましたね。この夏だけでアイヌ何本、食べたかな:(笑)
では、秋号スタートです♪



年忌について

毎年お送りしている年回表、手に取って、よく見てみてください。

『亡くなった次の年の命日は一周忌。じゃあ三回忌は亡くなってから三年後...あれ? 違う...』

みなさん、疑問に思いませんか?

ご存知の方もいらつしやるかと思いますが、少しお付き合ってくださいませ。



先にも書きましたが、亡くなって一年後の命日は「一周忌」と呼びます。亡くなって一年を迎えたというので、「一周忌」と呼び、一周忌以後の年間法要の数え方は、次の年を迎えるという意味で、一年プラスします。

つまり、二年後の命日は三年目を迎えるという意味で一年プラスするので「三回忌」と呼んでいます。同じように六年後の命日を「七回忌」、十二年後の命日を「十三回忌」となっていくます。思わず、間違えてしまいそうになりますが、年回表に亡くなった年がないか、過去帳などを見て確認してみることがをお勧めします。さて、年回表と照らし合わせ

せてみて、また疑問が湧きませんか?

『何回忌まで法要を行えばよいのだろうか?』

こう思った方も少なからず、いらつしやると思います。

年忌法要は五十回忌で弔い上げする地域が主流でしたが、時代の変遷と共に短縮されて三十三回忌にて終了とする場合が多くなりました。

三十三回忌であれば故人の逝去から三十二年後、五十回忌では四十九年も経過しているため、故人を直接知る人も少なくなっているかもしれませぬが、遺族や親戚、知人などで集まり、もう一度故人を偲ぶ機会としたいものです。



お墓の雪囲い

今年もお墓の雪囲いの季節がやって参りました。

雪囲い取り付けは次の手順で行います。

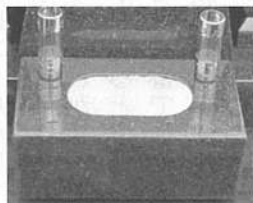
①墓石の拭き掃除をします。

②ビニールをかぶせ、ロープで縛り、雪囲い完了。



春先、雪解けの状態を見ながら雪囲いを外す作業に入ります。

①ロープとビニールを外し、墓石の拭き掃除をします。
②お線香立ての砂を取替えて完了。



雪囲いをする前や春彼岸にお墓参りをしたので早めに取り外してほしいという方は、ご相談に応じますので、ご遠慮なくお申し付けくださいませ。

取付は12月20日頃まで、取り外しは雪解けの状態に合わせて、遅くともGW前までにいたします。

同封しました「お墓のお手入れ」に金額等、説明しておりますのでご覧になつてくだ

さいませ。以前やつておりました、松竹梅のコースが無くなりましたので、お間違いないようお願い致します。

お申込み締め切り
11月15日まで
お早めにお願ひ致します。

☆お申込みはこちらまで☆
フリーダイヤル
0120-175-1483

FAX
017-1723-5756

お名前、ご連絡先、墓地の場所(青森市営霊園の場合は区画番号)をお知らせください。

歳時記

《紅葉狩り》



紅葉を觀賞する習慣は、奈良時代から始まったといわれ、「万葉集」にも登場しています。平安時代の頃には貴族の間で広まり、紅葉を愛でながら宴を開いていたよう、その様子が「源氏物語」にも描かれています。

その後、江戸時代には庶民も楽しむようになり、季節の行事として定着していき、紅葉を觀賞するのに「紅葉狩

り」というのはどうしてでしょう。「狩る」とは獣を捕まえるということですが、花や草木を探し求めるという意味もあるそうで、果物を採る場合にも使われます。「いちご狩り」や「ぶどう狩り」と言いますよね。採集するわけでもなく、紅葉を觀賞するのに「紅葉狩り」というのは狩猟を好まない貴族が自然を愛でることを狩りに例えたといわれています。春の桜は「花見」といい桜狩りとは言いません。やはり狩猟の秋だから「狩り」という言葉を用いたのでしょうか。また、当初、紅葉を集めて楽しんでいたのが、眺めることに変わっていったという説もあります。

8月、9月は気温が高かったため、今年の紅葉はどのようになるのでしょうか。

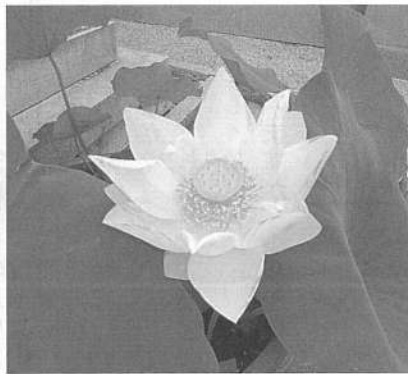
蓮の花が咲きました

当社で植えた蓮が、9月に入り白い大輪の花を咲かせました。今年の春に植えたもので、1年目に花が咲くのは珍しいそうです。午後になると、つぼみの状態に戻ってしまうので、見ごろは午前中です。花の命はあつという間で、4

日目には散ってしまいました。仏教で蓮の花は「蓮華」と称され、泥水の中から清浄な花を咲かせる姿から、仏の智慧や慈悲の象徴として位置付けられています。極楽浄土に咲く高貴な花として、珍重されて仏像の台座に蓮華をかたどった蓮華座を用いたりしています。

お墓もサオ石の下に蓮華をつけたり、花立てなどに蓮華を彫つたりします。一番なじみがあるのは、香典袋でしょうか？

なかなか間近で見ることがないので、じっくり観察して極楽浄土にいる気分を味わいました。来年も花が咲くのを楽しみにしています。



蓮托生

仏教用語で「極楽浄土に往生すると、ともに同じ蓮の花の

上に身を託し生まれ変わることに」

転じて、人と運命を共にすること。

ちょこっとレシピ

蓮の話題から：れんこんを使ったもちもちレシピはいかがでしょうか？

材料(4個分)

- れんこん 1節(約10cm)
- ねぎ 5cm
- 桜えび 大きじ1
- 片栗粉 大きじ1

①れんこんは皮をむいてすりおろす。

②ねぎはみじん切りにする。

③すりおろしたれんこん、ねぎ、桜えび、片栗粉をボールに入れ混ぜる。

④小判型に整えて、サラダ油をひいたフライパンで両面焼いて出来上がり。

⑤からし醤油

やお好みのものをつけて、お召し

上がりくだ

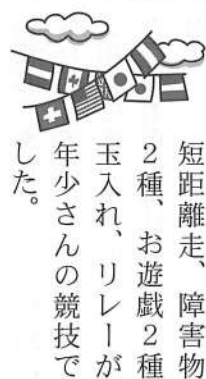
さい☆
離乳食後期のつかみ食べにも



オススメです♪

スタッフじゅりこのほのぼの育児日誌

息子の初めての運動会がありました。



短距離走、障害物2種、お遊戯2種、玉入れ、リレーが年少さんの競技でした。

私に似たのか、「よいい、パンツー」とピストルが鳴ってから1テンポ遅れてスタートするんです。しかし、主人に似たのか、走ると早いので短距離走では1番でした。障害物では旗の周りをグルツとしなきゃいけないのに、旗の手前で折り返してゴールまでダツシュ。近くで応援してた私たちの思わずあげた声、がビデオカメラに入ってしまった。みんなの倍は動きまくっていた(笑)お遊戯も上手に出来ていたし、玉入れも何個か入ったし、リレーでは抜かれちゃったけど、息子にとって楽しい思い出がまた1つ増えました。金メダルをもらえて



嬉しかったのか、夜は金メダルと一緒に寝てました☆
2学期は遠足やクリスマス会など初めてのイベントがいっぱいです。
「クリスマス会で使う衣装とか作らなきゃいけないかもよ」と母から脅され、私は今からヒヤヒヤしてます。

娘の成長ぶりも少し。1才を迎える前から歩き始め、歩き慣れた頃から階段を上ろうとしてたので柵が設けられました(笑)

言葉はまだまだですが、お腹がすくと「ん、まんま」と連呼します。食に対して食欲なのか、自分のご飯が無くなると私達のも食べようとしません。息子に気を取られているうちに、パクツと食べられていたことも。なんでも食べる(「ほんずがついてない)ので食わず嫌い王の息子に見習ってほしい今日この頃です(泣)

編集後記

食欲の秋ですが、気候の変化で農作物にも影響が。個人的にはサンモダシの味噌汁が飲みたいです☆ (じゅりこ)